

令和5度「文化芸術による子供育成推進事業 出演希望調書(実演芸術)」

分野、種目(該当する分野、種目を選択してください。)

分野	伝統芸能	種目	歌舞伎・能楽
----	------	----	--------

申請区分(申請する区分を選択してください。)

申請区分	A区分のみ
------	-------

複数申請の状況(該当するものを選択してください。) ※B区分継続団体については、申請企画数から除く

複数申請の有無	無	申請総企画数	3企画
---------	---	--------	-----

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当するものを選択してください。)

※複数申請の有無で【無】を選択された場合は、未記入で構いません。(グレーアウトされます。)

複数の企画が採択された場合の実施体制	公演の実施時期が重複しなければ、複数の企画を実施可能
--------------------	----------------------------

芸術文化団体の概要

ふりがな 制作団体名	こうえきしゃだんほうじん てっせんかい 公益社団法人 鏡仙会	団体ウェブサイトURL http://www.tessen.org/
代表者職・氏名	代表理事 観世暁夫	
制作団体所在地	〒 107-0062 最寄り駅(バス停) 表参道駅 東京都港区南青山4-21-29	
電話番号	03-3401-2285	
ふりがな 公演団体名	こうえきしゃだんほうじん てっせんかい 公益社団法人 鏡仙会	団体ウェブサイトURL http://www.tessen.org/
代表者職・氏名	代表理事 観世暁夫	
公演団体所在地	〒 107-0062 最寄り駅(バス停) 表参道駅 東京都港区南青山4-21-29	
制作団体 設立年月	1918年5月	
制作団体組織	役職員	団体構成員及び加入条件等
	代表理事 観世暁夫(鏡之丞)／理事 浅見慈一 馬野正基 観世淳夫 柴田稔 清水寛二 竹本幹夫 西村高夫 羽深(鶴澤)久 武川芳樹／監事 相原誠 北永久／事務職員 武川芳樹 藤岡美奈子 信沢千代子	正会員25人／観世暁夫(鏡之丞)、山本順之、北浪昭雄、永島忠修、浅井文義、羽深(鶴澤)久、清水寛二、西村高夫、岡田晴義(麗史)、柴田稔、小野里(小早川)修、泉雅一郎、馬野正基、浅見慈一、北浪貴裕、野村昌司、長山桂三、谷本健吾、鶴澤光、安藤貴康、観世淳夫、青木健一、小野里(小早川)泰輝、片山清司(九郎右衛門)、大槻文藏
事務体制 (専任担当の有無)	他の事業と兼任の事務担当者置く	本事業担当者名 信沢千代子
経理処理等の 監査担当の有無	有	経理責任者名 藤岡美奈子

<p>制作団体沿革</p>	<p>1918年 江戸後期の観世流宗家十五世観世左近の時に分家した、観世鍔之丞家を中心に設立 1952年 社団法人鍔仙会を設立 1955年 東京青山に鍔仙会舞台落成 1983年 鍔仙会能楽研修所竣工 2003年 鍔仙会八十周年記念能、鍔仙会能楽研修所二十周年記念能 2012年 公益法人認定を受ける 2014年 鍔仙会能楽研修所三十周年記念特別公演 2016年 青山能MIRAI第一回公演 2017年 ふらっと能楽体験@表参道開始</p> <p>広く舞台芸術の視野から能を見直すことで密度の高い舞台を実現し、復曲や新作能にも企画・参加するなど、鍔仙会の現代に生きる演能活動は高い評価を得ている。 現在は九世観世鍔之丞を中心に、年に20回程の主催公演をはじめ、教職員向けの能楽講座「教え方講座」、野外能や企画公演、子供のための能教室を随時行うなど、能の発展と普及に尽くしている。</p>		
<p>学校等における公演実績</p>	<p>○学生能狂言鑑賞実績 2001年～ 成城学園高等学校 2001年～ 跡見学園中学校高等学校 2005年～ 東洋大学 2006年～ 三輪田学園高等学校 2006年～ 早稲田高等学校 2011年～ 東京都立国際高等学校 2022年 星野学園</p> <p>○学生能狂言鑑賞と体験実績 2005年～ 横浜市西区内の小学校9校 2006年～ 専修大学松戸中学校 成蹊中学校、浦安市立入船中学校、田園調布学園ほか</p>		
<p>特別支援学校等における公演実績</p>	<p>2000年 ねむの木学園</p>		
<p>参考資料の有無</p>	<p>申請する演目のWEB公開資料</p>	<p>無</p>	
	<p>※公開資料有の場合URL</p>		
	<p>※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード</p>	<p>ID:</p>	
<p>PW:</p>			

公演・ワークショップの内容

【公演団体名 公益社団法人 鉄仙会 】

対象	小学生(低学年)	○	/	
	小学生(中学年)	○		
	小学生(高学年)	○		
	中学生	○		
企画名	鉄仙会能楽鑑賞教室			
本公演演目 原作/作曲 脚本 演出/振付	<p>狂言「柿山伏」／作者不明。『今昔物語集』巻二〇「天狗現仏坐木末語」等の説話を背景にして本曲が作られたとする説もある。半能「敦盛」／世阿弥作。『平家物語』巻九「敦盛最期」や『源平盛衰記』巻三十八に見える平敦盛と熊谷次郎直実のエピソードを素材とする。</p> <p>【プログラム構成】 オープニング(囃子演奏)／挨拶／狂言「柿山伏」鑑賞、狂言お話／休憩(応相談)／能の謡一節おさらい／半能「敦盛」鑑賞／質問コーナー</p> <p style="text-align: right;">公演時間 90 分</p>			
著作権、上演権利等の 許諾状況	各種上演権、使用権等の許諾手続きの要否	該当なし	該当コンテンツ名	
	該当事項がある場合	権利者名	許諾確認状況	
演目概要	<p>■狂言「柿山伏」 およそ20分 修行から帰る途中の山伏が道端の柿を盗み食べているところへ、柿の畑主がやってくる。畑主は木陰に隠れた山伏をこらしめるため、そこにいるのは猿か鶯かととげると、山伏は慌てて鳴きまねをして…。</p> <p>■半能「敦盛」 およそ40分 一ノ谷合戦にて十六歳という若さで熊谷直実に討たれた平敦盛。現では敵同士だった二人は仏縁により真実の友となり、言葉を交わす。「平家物語」に題材を取った、優美な敦盛を描いた能。 半能:後場より上演いたします。</p>			
演目選択理由	<p>■柿山伏 柿を盗んだ罪をどうにか隠そうする姿が笑いを誘う山伏狂言。柿を食べる仕草や、動物の鳴き声の真似など、見ている子どもたちも思わず真似したくなるような狂言独特の表現が随所に見られ、知的好奇心を刺激します。さらに登場人物の行動や心理を客観的に笑うのみに留まらず、人間の愛すべき部分を描く狂言の本質を味わっていただきたいと考えます。</p> <p>■敦盛 主人公の平敦盛は、一ノ谷の合戦にて十六歳の若さで命を落とした武将で、『平家物語』にその最期が伝えられています。能「敦盛」はその後日譚ともいえる内容で、出家した直実(蓮生法師)の視点で物語が進み、詩歌管絃を愛した敦盛の苦悩が丁寧に描かれています。</p> <p>生前、戦乱の世で敵同士だった熊谷直実と平敦盛。敦盛の死後、二人は仏縁により真実の友となります。 戦争と平和、敵と友、現世と死後、「敦盛」は現代に生きる我々にも通じる普遍的なテーマを描いており、能の名作として頷ける一曲です。</p> <p>今回上演する後場では、蓮生の弔いに感謝した敦盛が在りし日の姿で現れて生前の様子を語る、という能の後半部分をご覧ください。 生徒たちに近い年齢である敦盛の生き様を通して、正解のない問題について考える鑑賞へ導きます。</p>			
児童・生徒の共演、参加又は体験の形態	<p>プログラムの「能の謡一節おさらい」の部分で、ワークショップで稽古をした「敦盛」の謡の一部、または能の終演部に謡う「附祝言」をおさらいします。ワークショップに参加した生徒は能楽師と共演し、全生徒も謡を学びます。 能楽師との共演は希望により人数の限定も可能。</p>			
出演者	<p>シテ方 (うちシテ1名、地謡6名、後見2名、働き2名) ※★は重要無形文化財保持者(総合認定)</p> <p>観世鏡之丞★ 1956年生まれ、1960年初舞台。2002年に九世鏡之丞を襲名。2008年日本芸術院賞、2011年紫綬褒章を受ける。力強さと繊細さを兼ね備えた謡と演技には定評があり、東京および京都、大阪でも活躍するほか、海外公演にも多く参加している。公益社団法人鉄仙会代表理事。公益社団法人能楽協会理事。京都造形芸術大学評議員。都立国際高校非常勤講師。</p> <p>観世淳夫 1992年生まれ、1996年初舞台。2002年「千歳」、2010年「石橋」、2012年「乱」、2016年「道成寺」を抜く。公演のほかワークショップにも積極的に参加し、国内外で研鑽を積む。若き粗削りの芸に垣間見える気品には鏡之丞家の一跡が感じられる。次期当主として次世代の能界を担う能楽師の一人。</p> <p>鶴澤久★、清水寛二★、西村高夫★、柴田稔★、小早川修★、馬野正基★、浅見慈一★、北浪貴裕★、長山桂三★、谷本健吾★、鶴澤光★、安藤貴康、青木健一、小早川泰輝</p> <p>ワキ方 2名、囃子方 3名、狂言方 4名 シテ方観世鏡之丞家一門を中心に、気鋭の能楽師が出演いたします</p>			
本公演 従事予定者数 (1公演あたり) ※ドライバー等 訪問する業者人数含む	出演者: 20 名 スタッフ: 4 名 合計: 24 名	運搬	積載量: 2 t 車長: 5.5 m 台数: 1 台	

本公演 会場設営の所要時間 (タイムスケジュール) の目安	前日仕込み	無	前日仕込み所要時間		0	時間程度
	到着	仕込み	上演	内休憩	撤去	退出
	9時	9時～12時	13時～14時半	応相談	14時半～16時半	16時半
※本公演時間の目安は、午後、概ね2時限分程度です。						

本公演 実施可能日数目安 ※実施可能時期については、採択決定後に確認します。(大幅な変更は認められません)	6月	7月	8月	9月	10月	
	5日	0日	0日	3日	10日	
	11月	12月	1月	計	42日	
	4日	10日	10日			
※平日の実施可能日数目安をご記載ください。						

児童・生徒の 参加可能人数	本公演	共演人数目安	150名(ワークショップ参加者、希望により人数限定も可能)
		鑑賞人数目安	500名

公演に係るビジュアルイメージ
(舞台の規模や演出や
がわかる写真)

※採択決定後、採
択団体へ図面等詳
細の提出をお願い
します。



(図1)能舞台イメージ1
ホールでの設置図
所作台(床面の板)は使用せず、上物の大道具を使用



(図2)能舞台イメージ1
ホールでの設置図
所作台(床面の板)は使用せず、上物の大道具を使用



(図3)能舞台イメージ2
体育館フロアに舞台を設置した場合



(図4)「敦盛」上演の様子
シテ:観世淳夫

【公演団体名 公益社団法人 鏡仙会 】

児童・生徒の 参加可能人数	ワークショップ	参加人数目安	150名
<p>ワークショップ 実施形態及び内容</p>	<p>①能についてのお話(およそ20分) ・能とは／能の表現／能の約束／曲目様々など ・能「敦盛」あらすじ 半能の鑑賞に向けて概要をお話いたします。</p> <p>②型・謡稽古(およそ1時間) ・能楽師による仕舞の実演 ・グループに分かれて稽古 ・グループごとに発表 鑑賞教室時の能楽師との共演に向け、「敦盛」の一部分を担当能楽師と稽古します。</p> <p>③ふりかえり、質問コーナー(およそ10分) 生徒の皆さんからの感想発表 「敦盛」に関すること、能楽師に関すること、皆さんの疑問にお答えします。</p> <p>※休憩は応相談</p> <p style="text-align: right;">(90分程度)</p>		
<p>ワークショップの ねらい</p>	<p>能の言語・身体表現を通して、学校生活、世代間、国際社会でのコミュニケーション能力向上、他者と自己の認識力向上を目的とする。 導入の「①能についてのお話」では、生徒それぞれが主体的にワークショップに参加できるよう、ワークショップのガイダンスとして、若手の能楽師が能の世界へと導く。 メインとなる「型・謡の稽古」では、若手能楽師による的確な指導のもと、能の身体表現を生徒全員が稽古する。非日常の動き、声の出し方を稽古する中で、生徒間の意見交換も積極的に促し、学び合う空間を作る。また、その後の発表、鑑賞日の共演に向けて稽古をすることで、緊張感を持って稽古に挑む職業、能楽師を疑似体験してもらう。 「ふりかえり、質問コーナー」では、稽古・発表後の感想・意見を述べ合い、皆で共有する。一度きりの体験で終わることがないように、次回鑑賞に繋がるお話や、日常に還元ができるようなお話で締めくくる。</p>		
<p>その他ワークショップに 関する特記事項等</p>			